

高齢化の進む多摩地域で独立開業 相続・遺言・後見の相談に対応

リーガルパワー司法書士事務所(多摩市、吉村博代表)は、相続手続や、相続対策、遺言、後見を得意とし、不動産、商業の登記業務にも力を入れている。

司法書士の吉村代表は、横浜の司法書士事務所などで約20年間、相続登記・相続手続全般、遺言作成サポートなどの実務経験を積んだ。高齢化が進み、相続や遺言の問題に悩む人の増加が予想される多摩地域の住民をサポートしたいと、2015年10月に多摩市で独立開業した。

「あなたの『不安』を『安心』に変えます」とを理念とし、過去事件を踏える相談と、プリンク能力を武器として提案型の対応を得意としている。依頼内容の背景をしっかりと見て、依頼主が今後安心して生活していけるための対応を導き出すことを意識している。

「重要な対応はもちろん、お客様にとって大切なライフスタイルを大切に提供します。まずは直接会って良さを知ってもらいたいので、初



司法書士は「町の身近な暮らしの法律家」と話す吉村代表



ベンチプレスで地方大会 MVP の実績も

10年保証のLED電球いよいよ製品化

発光ダイオード(LED)照明が一般化しつつある中、KKテクノロジーズ(小金井市、加賀谷社長)は、0.42・316・1818(0.42・316・1818)がさらに進化した超長寿命LED照明を開発。2017年1月から販売を予定している。

一般的なLED電球には標準寿命30年を想定、10年の長期保証も付いた。一方、人の顔色の赤味など、従来のLED電球では改善ができていなかった色を出せる電球もラインアップし、鮮魚店や寿司店など飲食店のディスプレイに使用できる鮮やかなLED電球もラインアップしている。

「既存品の約2倍の価格でも保証期間が長く経済的」と加賀谷社長



長寿命のLED電球を多数販売している

三鷹のカフェ「ローズルーム」をリニューアル 紅茶のOEM・卸売・通販も

風の散歩道沿い、山本有三記念館の隣にあるローズルーム(三鷹市、0422・26・8870)といえは、三鷹ではおなじみのカフェ。2016年10月にセブンライフ(小金井市、江口拓生社長、0422・306・5300)が経営を引き継ぎ、リニューアルオープンさせた。

外観や内装は以前の雰囲気を残しつつ、メニューは一新。カフェの運営は江口社長の妻の睦子さんが主に担当し、日替わりの食事メニューや専任のパティシエが作るケーキと焼き菓子が楽しめる。

「おすすめは広島県下蒲刈のレモンを使ったレモンケーキ。素材だけと一度食べたら忘れられない味です。三鷹にお越しの際はオフィスへのお土産にもぜひと睦子さん。予約や貸し切り

「今後は業務用の卸売販売や個人への通販販売も行う予定で、準備を進めています。企業の周年記念やイベントのノベルティなどのご相談も承ります。小ロットにも対応いたしますので、こちらでもぜひお問い合わせください。三鷹店は、0422・306・5300、三鷹店は、0422・306・5300」



スタッフ(中央)と江口社長(右)、妻の睦子さん(左)

税理士が毎月訪問して会計チェック 地域密着で迅速な対応

小柳津会計事務所(福生市、小柳津所長、0422・513・4697)では毎月、税理士が顧問契約を結んでいる法人や個人事業主を訪ねて会計データをチェックし、黒字決算実現のため、月次決算体制の構築を支援している。税務・経理・融資等の相談には随時対応。決算2カ月前には税金予測を行い、顧客の最適な節税対策を提案する。

同会計事務所は経営革新等支援機関に認定されており、経営改善計画の策定支援にも取り組んでいる。また、事業継続対策を盛り込んだ計画表を作成し、事業継続のための自社株対策も行う。さらに、顧問税理士がいる法人からの相談に対応する総務セカンダリビジネスサービスも実施している。

所長の小柳津所長は多摩地域の会計事務所10年以上勤務し、さまざまな規模・業種の法人および個人への決算、申告業務に携わってきた。

「自らも一経営者として、お客さまと同じ立場に身を置くことで、お客さまと本気で向き合っている。個人向けサービスでは相続税、贈与税の申告業務だけでなく、相続に関する相談や試算も行う。弁護士、司法書士等とのネットワークを持っており、どんな相談でもワンストップで対応できるのが強みだ。生で独立開業。



顧問先のリサイクルショップ経営者を毎月訪問している小柳津所長(左)

セミナー参加が“縁”で 精密機器の部品製作を受発注

アジャスト(東京府栗原市、保谷博社長、0422・479186)は、精密切削加工部品の製造・販売をメインにしたエンジニアリングサービスを提供している。一方、ユニロック(町田市、江本茂夫社長、0422・7985090)は電子顕微鏡関連機器の開発・設計・製造を行っている。

両社が出会ったのは、2016年5月から6回連続で開催されたセミナー(入財教育プログラム)で、アジャストの代表取締役がユニロックの代表取締役と知り合いになり、会社の事業について話した。以前、製造部門で部品発注を担当していた経験から、アジャストが製造できる部品がユニロックの部品と一致する可能性がある。アジャストの代表取締役は、ユニロックの代表取締役を訪ね、ユニロックの工場を訪問し、ユニロックのエンジニアから精密加工のノウハウを学んだ。アジャストは、ユニロックのエンジニアから、精密加工のノウハウを学んだ。アジャストは、ユニロックのエンジニアから、精密加工のノウハウを学んだ。



マッチングのきっかけを作ったアジャストの代表取締役・保谷典子さん

マッチング事例 アジャスト ユニロック

高い精度を誇るアジャストの切削加工品

「手に入りにくい原料と聞いたので、切削方法を工夫して製作量が従来の5倍に増えるようにしました」と保谷社長。ユニロックの代表取締役は、アジャストの代表取締役を訪ね、ユニロックの工場を訪問し、ユニロックのエンジニアから精密加工のノウハウを学んだ。アジャストは、ユニロックのエンジニアから、精密加工のノウハウを学んだ。